

広報

FUKUI CITY PUBLIC RELATIONS

FUKUI



異文化
の
胃
文化交流

おいしい!
でつながる



ジャガイモの千切り炒め クラムチャウダー

ボルシチ

ナシゴレン

生春巻

ジャークパスタ

8月8日にアオッサで行われた(公社)ふくい市民国際交流協会主催の「小学生クッキングワールドツアー」の様子。小学生18人が、福井に住むアメリカ、インドネシア、ウクライナ、ジャマイカ、中国、ベトナムの外国人講師に、各国の人気料理の作り方を教わった。

必見！福井市の「多文化共生のススム」

多文化共生を阻む大きな要因の一つに、お互いのコミュニケーション不足による誤解や偏見があります。ここでは、多文化共生の実現に向け、福井市が力を入れている「福井市多文化共生推進プラン(第3次)」の三本の柱を推進するため、「言語」「文化」「教育」の三つの切り口から、市の取り組みを分かりやすく紹介します。



福井市多文化共生推進プラン(第3次)



おもてなし観光推進課 国際室 (左から) 山本 真由美、竹内 祐貴



**言葉や文化の違いは関係ない！
みんな違ってみんなふくい**

外国人



ごみの分別などの地域のルール、漢字で書かれていて読めない…

ごみの分別の情報、回覧板で届けているはずなのに…



日本人

言語のバリエーションをなくす

まず、大きな障壁となるのが言葉の違いです。福井市では、多言語による情報提供と情報伝達手段の確保に取り組んでいます。その一つが、英語、中国語、ポルトガル語の行政通訳員の配置です。市役所の窓口などでの通訳業務のほか、行政文書や市が発行しているチラシ、パンフレットなどの翻訳も行っています。市役所での手続きなどの際に利用できますので、ぜひ気軽にお問い合わせください。ほかにも、多言語情報配信ツール「カタログポケット」での情報発信や、「やさしい日本語*」の講座の開催などに力を入れています。詳しくはホームページをご覧ください。

*簡単な表現を使う、一つの文を短く簡単にする、振り仮名を振るなど、簡単で外国人にも分かりやすくした表現方法
(例)「明日再度お越しください」→「明日 もう一度 来てください」

カタログポケットでは、防災やごみ出しに関することなど、市民の暮らしや生活に直結する情報まで幅広く配信中



福井市行政通訳員 (左から) 関宮 由美子、龍向明、北山夕子

外国人



もっとハッキリ言ってくれた方が、考えていることが分かるのになあ…

いつも直接的な表現が多いけど、怒っているのかな…



日本人

文化のバリエーションをなくす

言語以外にも、生活様式や習慣など、文化の違いが障壁になります。福井市では、お互いの文化を正しく理解してもらうために、福井市国際文化交流大使(FCA)による各種取り組みを進めています。FCAは、福井市の多文化共生、国際化の推進のために、海外の姉妹友好都市などから招き入れた大使です。

小さいころから外国の文化に触れ合い、異文化への偏見をなくす取り組みとして、市内の保育園や幼稚園などでの国際理解講座の開催をはじめ、公民館や児童館などでの「日本の常識・世界の非常識」と題した出前講座の開催などを行っています。また、地域の行事やイベントなどにも積極的に参加し、多文化理解、国際交流活動にも努めています。FCAの講座を受講してみたい、地区の行事やイベントに呼んでみたい人など、詳しくはホームページをご覧ください。

保育園での国際理解講座の様子



8月から新FCAとして頑張ります！



福井市国際文化交流大使(FCA) (左から) ノア・ハートウィック、タデイ・ラスロ

外国人



日本語の勉強で精一杯で、授業についていけない…

授業中あまり発言しないけど、ちゃんと理解できているのかなあ…



日本人

教育のバリエーションをなくす

(公社)ふくい市民国際交流協会では、主に外国人の子どもを対象とした学習支援をはじめ、日本人との交流、日本文化への理解促進などを目的とした支援をしています。

協会には約140人のボランティアが在籍しており、外国人の子ども一人一人の性格や特徴に応じた日本語指導や通訳ボランティアを派遣する「外国人児童生徒サポート事業」を実施しています。定期的に運営会議や勉強会を開き、市内各小中学校にいる外国人児童や生徒の情報共有をはじめ、細かいニーズに沿う体制づくりを展開しています。

また、月に2回程度、日本人市民と外国人市民が、それぞれの文化を理解することを目的に、ゲームやクイズを通して日本語で気軽に交流する「しゃべり場」も開催しています。毎回異なるテーマを設け、そのテーマに応じて自由に意見を交わすことで、気軽に国際交流できる機会を確保しています。

詳しくはホームページをご覧ください。

日本語で気軽に交流できる「しゃべり場」



(公社)ふくい市民国際交流協会 事務局長 辻端 聡子さん

気軽に相談してください！



近年、学校や駅、公園など、福井のまちで外国人に出会うことが多くなっています。福井市に住んでいる外国人の数は年々増加傾向にあり、今や福井市に住む約60人に1人が外国人です。今回の特集では、外国人の皆さんとの共生に焦点を当て、私たち日本人と同じ「福井市民」として、お互いの文化を受け入れ、一緒に福井のまちを創っていく必要性や重要性について考えます。

1 日本に必要な外国人の力

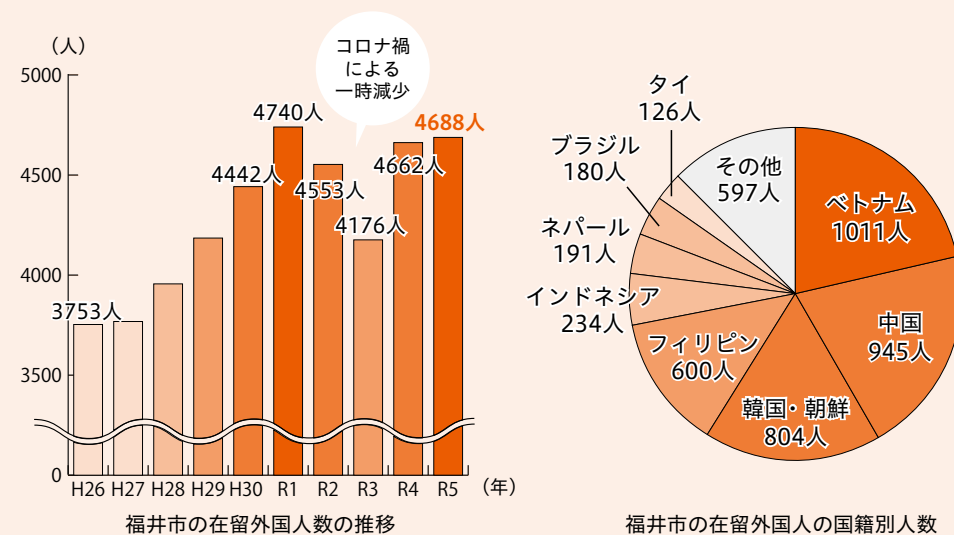
現在、福井市に住む外国人の数は4688人、市の総人口に占める割合は1.83%と過去最高水準です。10年前に比べると約1000人も増加しており、今後ますます増えていくことが予想されています。

国籍別で見ると、ベトナム、中国、韓国・朝鮮などのアジア諸国を中心に年々多様化しており、現在では67の国と地域の人たちが福井市で生活しています。

このような背景には、外国人の日本文化への関心の高まりや、全国的に進む働き手不足の問題などがあります。平成31年4月、国は法律を改正し、国内での人材確保が難しい農業や漁業、福祉などの分野において、在留資格「特定技能」による外国人の受け入れを許可しました。福井市でも264人の外国人の皆さんがこの制度を利用して、福井市の経済、産業を支える存在として活躍しています。

2 異文化と共に生きていく

文化や習慣の異なる日本人と外国人が同じ場所で生活していると、どうしても悩みや問題も生まれます。そこで重要視されるのが「多文化共生」という考えです。「多文化共生」とは、お互いの国籍や言葉、文



化や習慣などを認め合い、相手を尊重しながら暮らしていくことを意味します。さまざまな国の人たちが共に手を取り合い、一緒にまちを創っていくという考えです。

福井市では、「福井市多文化共生推進プラン(第3次)」に基づき、大きく分けて三本の柱*のもと、多文化共生社会の実現に向けた各種事業に取り組んでいます。

*行政通訳員の配置などをはじめとする「外国人も安心して暮らせる環境づくり」、国際理解や多文化共生に関する講座の実施などの「多文化共生の地域づくり」、外国につながる子どもへの日本語指導などの「未来を築く人づくり」の三本。

※本文中やグラフで用いられているデータは全て、令和5年4月1日現在のものです。

福井で活躍する国際交流のスペシャリストたちに、多文化共生社会の実現のための活動や、異文化交流のこつなどについて、経験談を交えながら思いや考えを語ってもらいました。

日本人も外国人も、気軽に憩える場所を目指して

「ふくい外国人コミュニティリーダー」として、行政から発信される災害などについての重要な情報を、SNSなどを用いて届けるなど、橋渡しの役割を担っているコマラ・デビさん。「自分が日本に来たばかりのころは言葉も分からず、福井での暮らしは非常に不安でした。その経験をもとに、一人でも多くの外国人に対し、正確で安心できる情報を届けていきたいです」と熱心に語ります。

福井に住んで20年以上。現在は、インドネシア料理店「ジャカルタフード・インドネシア」(文京3丁目)の店主を務めるデビさん。料理店を営む傍ら、国際交流を目的としたイベントを催すなど、福井の国際交流、多文化共生を支えています。

「20年前、福井にはみんなと気軽に交流できる場所や機会が少なく、とても寂しい思いをしました。そこで、日本



デビさんの店「ジャカルタフード・インドネシア」には、日々さまざまな国籍の人たちが集う

ふくい外国人コミュニティリーダーホームページ



料理店経営 (日本歴24年) コマラ・デビさん

人も外国人も気軽に集える『憩いの場』を作りたいと考え、お店を始めました」と話します。店には日本人だけでなく、数多くの外国人留学生や実習生が集まっています。「生まれ育ったジャカルタの食を届けることを通じて、国籍に関係なく楽しめる空間を創ることに、やりがいと楽しさを感じます。お店は、留学生や実習生の『相談場所』としての一面もあります。勝手に彼らのお母さんになった気分の日々接しています」と笑顔で話します。

昨年、母国インドネシアのジャカルタにも、日本食を扱う飲食店「フクイ・ジャカルタフード」をオープンさせたデビさん。「私の中で日本と言えば福井、お店の名前には大好きな『フクイ』を入れました。日本の良さを、日本食を通じて母国の友達にも伝えることができて幸せです」と話します。

「今後、『ジャカルタ・インドネシアフェス』など、母国インドネシアと福井をつなぐ交流イベントをたくさん企画していきます。今よりもっと福井の人たちと交流し、一緒に福井のまちを盛り上げていきたいです」

外国人との交流を楽しんでほしい

福井県立足羽高校多文化共生まちづくり班「Asuwa high school International Society」(通称A・I・S)は、昨年9月に発足した「多文化共生のまちづくり」をテーマにした放課後活動。日本人だけでなく、ブラジルや中国などの国籍を持つ生徒30人ほどで構成されています。代表の磯野さんは「足羽高校は、他の高校と比べて多国籍。国際交流や多文化共生を目的とした活動をする団体がなくてはならないと思い設立しました」と話します。

主な活動は、国際交流や多文化共生を目的としたイベントの企画や運営。4月には、丸岡高校の生徒たちに「ブラジルの食文化」を知ってもらおうと、ブラジルのパーベキュー「シユラスコ」を通じて交流イベントを催したそうです。メンバーの小貫さんは、「異文化を



言語や国籍に関係なく、多彩なメンバーが集まる

国際交流！スタ2023

「やさしい日本語」世界旅行気分です

～ 15:00

ンブラリー

ジパフォーダンス など

ふくい市民国際交流協会

〒97-5022

問合せ (公社) TEL 97-5020



外国人も「福井市民」、何でも話してほしい

「私たちの活動を通じて、『外国人』という存在を身近に感じてくれる人が一人でも多くなればと思います。外国人と交流することに、身構えたり、深く考えたりする必要はありません。自分と異なることを楽しむ余裕さえあれば、きっと自分なりの国際交流ができると思います」と代表の磯野さんは言います。

竹内さんは、「私たちは一人一人夢も目標も違います。好きな福井のまちを、いろんな文化が行き交う場所にしたいという思いは皆共通です」と熱く語ってくれました。



県立足羽高等学校多文化共生まちづくり班「AIS」(左から)磯野心吏さん、小貫アユムさん、竹内希依真さん、清水中ミエさん

外国籍の人たちの声に耳を傾けることが大切

国際交流や多文化共生の動きが盛んな清明地区。市民団体「清明国際交流クラブ」は、10年以上前から、地区の人たち、特に子どもたちや外国人を対象とした多文化共生を推進する活動を続けてきました。現在は、清明公民館、清明まちづくり委員会も含めた三者による取り組みが始まろうとしています。

清明公民館は、地元の足羽中学校、足羽高校と連携して地域で交流を深めてきました。昨年開催された、足羽高校多文化共生まちづくり班「A・I・S」と連携した「そば打ち体験」や、城山登山体験などを通じて異文化交流を行いました。お互いの文化への理解を促進させました。

また、清明まちづくり委員会でも同様に、公民館での国際交流イベントの開催などに力を入れています。7月には、地区で暮らす外国人のニーズや特徴などを把握しようと、中国人やベトナム人を対象としたアンケートを実施。委員の池尾さんは、「外国籍の人も、清明地区を構成する大切な存在。今後、地域に住む外国籍の人たちの声に耳を傾け、大雪などの災害時にもしっかりと必要な情報が行き届く体制を築いていきたいです」と話します。

長年、清明地区の多文化共生を支え推進してきた清



スロベニアの文化を地区の小学生に伝える

明国際交流クラブ代表の笠松さん。「今後は、公民館やまちづくり委員会と一層連携を深め、活動の幅を広げていきたい。清明地区だけでなく、市内の至るところで国際交流が見えるまちになるよう、引き続き努めていきます」と話します。

「今後は、定期的に開かれる地区の運営会議のメンバーに、一人でも多くの外国籍の人が参加してほしい」と言う公民館館長の川口さん。

「三者で横のつながりを強化し、地域に住む外国籍の一人一人も取り残すことなく、誰もが安心安全に暮らせる清明を創っていきます」



清明公民館 館長 川口 英雄さん
清明まちづくり委員会 安心と思いやりの部門 部門長 池尾 恵子さん
清明国際交流クラブ 代表 笠松 澄子さん

日本人と外国人が、同じまち、地域でお互いに暮らしやすくなるためには、外国から来た人たちがどんなことで困っているのかを知り、理解する必要があります。『外国人』だから自分とは関係ない』ではなく、福井のまちを共に創っていく市民であることを再認識し、私たち日本人から積極的にコミュニケーションをとっていくことも大切なことです。福井の多文化共生の実現に向けて、一人一人できることから行動してみませんか。

問合せ 国際室
TEL 20-5300 FAX 20-5670



製造業勤務 (日本歴7年) エイ・ゼイン・ミンツさん



県主催のグローバルフェスタの様子。民族衣装を身にまとい、母国ミャンマーの食文化を伝える



9/10～16は自殺予防週間です あなたもゲートキーパーに！

自殺予防においては、悩んでいる人に寄り添い、孤独や孤立を防ぎ、支援することが重要です。それぞれの立場からできることを進んで行うことが、自殺予防につながります。

「ゲートキーパー」とは、悩んでいる家族や仲間に関心し、支える役割を持つ人のことで、「命の門番」とも呼ばれています。特別な経験や資格は必要ありません。

あなたもゲートキーパーになりませんか。



自殺予防啓発ポスター

ゲートキーパーの四つの役割

①気付き

家族や仲間の変化に
気付いて、声をかける。

【声かけの例】

- ・眠れてる？
- ・元気ないけど大丈夫？



②傾聴

本人の気持ちを尊重し、
耳を傾ける。

【ポイント】

- ・心配していることを伝える
- ・相手の気持ちを否定しない



③つなぎ

早めに専門家に
相談するよう促す。

福井市の悩みごと
相談窓口一覧



④見守る

温かく寄り添いながら、
じっくりと見守る。

- ・必要があれば相談に
乗ることを伝える



ゲートキーパーになるには

ゲートキーパーになるための研修会を開催しています。

オンラインでも受講できます。

研修受講者には、修了証を交付します。

申し込み方法など、詳しくはホームページを
ご覧ください。



研修受講者の声

- ・研修を受けるまでは、悩んでいる人に気付き、声をかけることが大事だという発想がなかった。今後、できる限り大切な命を守れるようにしたい。(60代自営業)
- ・何か心配事がありそうな人への対処の仕方が分かったように思う。(20代学生)
- ・悩んでいる人に寄り添い関わり、孤独・孤立を防ぐことの大切さを再確認した。(30代会社員)

研修講師から

誰一人として自殺に追い込まれない社会とは、全ての人が、活躍できる場を持った社会です。

ゲートキーパーの目指すところは、相手の気持ちに寄り添いながら、相手の活躍の場を見つけるお手伝いをする事です。



福井県公認心理師・
臨床心理士協会
岡本克己氏





婚活スクール、婚活セミナー参加者募集

参加すると、婚活イベントに優先的に参加できます。

婚活スクール（男性対象）

とき【婚活スタートアップセミナー】

10/1（日）13:30～15:10

【1対1の個別レッスン】

10/22（日）、28（土）、11/11（土）、18（土）

13:00～17:00（1人30分程度）

ところ アオッサ

対象 県内に住む結婚を希望する26～40歳の独身男性

内容 婚活講座など、結婚までのサポートを受けられる「婚活スクール」

定員 24人（抽選）

婚活セミナー（女性対象）

とき 10/1（日）13:30～15:10

ところ アオッサ 研修室 601BC

※オンラインでも参加できます。

対象 県内に住む結婚を希望する26～40歳の独身女性

内容 結婚を希望する女性が結婚や婚活に対して前向きになるためのセミナー「しあわせマインドを育むメソッド」。ワークを交えながら考え方や物事の捉え方などの意識について学ぶ。

いずれも

申込 ①9/20（水）まで ②ホームページ

問合せ 女性活躍促進課

TEL 20-5353

FAX 20-1538



いきいき子育てサロン

とき 10/18（水）10:00～11:30

ところ アオッサ 研修室 607

※オンラインでも受講できます。

対象 市内に住むか勤める人

定員 30人（抽選）

申込 ①10/7（土）まで ②電話、Eメール

問合せ・申込先

中央公民館

TEL 20-5459

FAX 20-1538

☒ cyuou-k@mx1.fctv.ne.jp



障がい者スポーツ教室

とき 9/17（日）13:30～15:30

ところ ちもり体育館（湊4丁目）

対象 市内に住むか通勤・通学する人

内容 オーバルボール、風船バレーボール、モルック など

持ち物 タオル、内履き、飲み物 など

問合せ 障がい福祉課

TEL 20-5435

FAX 20-5407



難病患者相談会

とき 10/6（金）13:00～16:30

ところ 保健所（西木田2丁目）

対象 難病患者、小児慢性特定疾病患者とその家族

専門家による個別相談

内容 次の専門家による個別相談

- ・神経内科医師（病気の治療）
- ・理学療法士（リハビリ）
- ・栄養士（食事）
- ・難病支援センター相談員（生活）
- ・小児慢性特定疾病児童等自立支援相談員（生活・学校生活）
- ・社会保険労務士（障害年金）
- ・就労支援相談員（仕事）
- ・障がい者基幹相談支援センター相談員（障がい福祉）

※1人30分までです。

複数の専門家への相談もできます。

定員 各専門家につき7人（先着順）

※医師のみ6人です。

ミニ講座

内容 特別支援教育センター職員による就学、中学・高校への進学についての講座と質疑応答

いずれも

申込 ①9/15（金）8:30から ②電話

問合せ・申込先

地域保健課

TEL 33-5185

FAX 33-5473



納期限は 10/2（月）です

国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料 3期

納税は便利な口座振替で

INFORMATION



お知らせ

◆本号に掲載している情報は、8/21現在の情報です。

◆最新の情報、詳しい情報は、ホームページをご覧ください。

◆料金の記載のないものは無料です。

◆申込欄には、①申込期間、②申込手段、③申込時に必要な情報や書類、を記載しています。

申込の記載のないものは申込不要です。申込欄③に「共通事項」と記載されているものは、以下をお知らせください。

共通事項

行事名、住所、氏名（よみがな）、年齢、電話番号



チーム力を支えるコミュニケーション講座

とき 10/14（土）10:00～12:00

対象 市民活動団体、市民活動に関心のある人

内容・アンガーマネジメントなどの講義
・価値観共有のためのワーク

定員 20人（先着順）

申込 ①9/15（金）9:00から ②電話、FAX、Eメール ③共通事項

問合せ・ところ・申込先

総合ボランティアセンター

（ハビリン4階）

TEL 20-5107

FAX 20-5168

☒ volunteer@city.fukui.lg.jp



9/18（敬老の日）は燃やせるごみを収集します

月・木曜日が燃やせるごみの収集日になっている地区は、9/18（月祝）に特別収集を行います。

出し遅れのないよう、朝7:00ごろまでにごみステーションに出してください。

問合せ 収集資源センター

TEL 35-0052

FAX 35-0813





水道洗管作業を行います

きれいでおいしい水を皆さんの家庭に届けるために、洗管作業を行います。夜間に道路上で消火栓などから多量の水を放出しますので、通行の際は十分注意してください。作業中は、作業区域内とその周辺で水が濁ったり、水量が少なくなったりすることがありますが、しばらく流すと元に戻ります。

問合せ 水道管路課 TEL 20-5640 FAX 20-5629



作業時間

22:00～翌朝 5:00

※ 17:15～21:00の間に、
広報車による広報を行います。

とき	作業区域
9/25(月)	明里町、桃園1～2丁目、足羽1～5丁目、有楽町、つくも1～2丁目、毛矢1～3丁目、左内町、大瀬町、西学園1～3丁目、水越1～2丁目、飯塚町、渡町、若杉町、若杉浜1～3丁目、若杉1～2丁目、加茂緑苑町、加茂河原町、加茂河原1～4丁目
26(火)	西木田1～5丁目、みのり1～4丁目、月見1～5丁目、月見町、春日町、春日1～3丁目、一本木町、西板垣町、板垣1～5丁目、木田町、木田1～3丁目、馬垣町、花堂東1～2丁目、羽水1～2丁目、板垣町
27(水)	淵1～2丁目、西谷町、西谷1～3丁目、江守中町、江守中1～2丁目、種池町、種池1～2丁目、若杉3丁目、福1～2丁目、福町、門前町、門前1～2丁目、加茂緑苑町、淵町、大島町、花堂北1～2丁目、花堂中1～2丁目、花堂南1～2丁目、舞屋町
28(木)	久喜津町、運動公園1～4丁目、加茂河原町、若杉4丁目、高塚町、若杉町、東下野町、西下野町、若杉浜3丁目、渡町、飯塚町、角折町、狐橋1～2丁目、下市町、金屋町、恐神町、北堀町、安田町、羽坂町、細坂町、大瀬町、淵町、福新町、淵3～4丁目、新下江守町、種池町、種池1～2丁目、下江守町
10/2(月)	舞屋町、大島町、花堂南1～2丁目、下荒井町、引目町、杉谷町、今市町、中荒井町、下河北町、上河北町、大土呂町、半田町、新開町、大町、下筋生田町、江端町
3(火)	別所町、大町1～2丁目、大町、花堂東1～2丁目、羽水3丁目、下馬1～3丁目、下馬町、下六条町、小稲津町、上六条町、上筋生田町、下筋生田町、天王町、稲津町、下細江町、上河北町、下河北町、円成寺町、東郷中島町、木田町
4(水)	中野1～3丁目、中野町、三十八社町、江尻ヶ丘町、下江尻町、上江尻町、森行町、浅水二日町、浅水三ヶ町、真木町、末広町、主計中町、浅水町、安保町、杉谷町、今市町、大土呂町、鉾ヶ崎町、角原町、三本木町、生野町、徳尾町
5(木)	江守の里1～2丁目、南江守町、合谷町、南居町、三尾野町、花守町、冬野町



子どもアトリエ レンガの家づくり

とき 10/15(日) 14:00～16:00
対象 小学生以上(小学校2年生以下は保護者同伴)
定員 25人(抽選)
参加費 1500円
申込 ①10/5(木)まで ②往復はがき ③共通事項、学校名、学年
問合せ・ところ・申込先 〒918-8112 福井市下馬3丁目1111 市美術館 TEL 33-2990 FAX 33-3114



自然史講座 渡り鳥ノジコの観察会

とき 10/14(土) 8:30～11:00
集合場所 中池見湿地(敦賀市)
対象 小学生以上(小学生は保護者同伴)
定員 20人(抽選)
申込 ①9/27(木)まで ②往復はがき ③共通事項
問合せ・申込先 〒918-8006 福井市足羽上町147 自然史博物館 TEL 35-2844 FAX 34-4460



初心者対象スマホ教室 (3日間コース)

とき 10/11(水)～13(金) 10:00～12:00
ところ アオッサ 会議室502
対象 市内に住むか勤めるスマホを持っている人
定員 10人(抽選)
申込 ①9/27(木)まで ②往復はがき ③返信先の住所、氏名、電話番号、スマホの機種
問合せ・申込先 〒910-0858 福井市手寄1丁目4-1 中央公民館 TEL 20-5459 FAX 20-1538



臨時休館

東山健康運動公園
9/26(火)～10/2(月)
《設備機器点検・清掃のため》
TEL 54-9190 FAX 54-9179



天体観望会 昼間に金星を見よう!!

とき 9/16(土) 10:00～11:30
(雨天、曇天中止)
※入館料が別途必要です。
問合せ・ところ 自然史博物館 TEL 35-2844 FAX 34-4460



天体観望会 中秋の名月と土星を見よう

とき 9/29(金) 19:00～20:30
※受付は20:00までです。
(雨天、曇天中止)
中学生以下は保護者同伴です。
問合せ・ところ 自然史博物館 TEL 35-2844 FAX 34-4460



昆虫の缶バッジ作り

とき 9/23(土祝) 10:00～11:30、13:00～15:30
定員 50人(先着順)
※小学生以下は保護者同伴です。
参加費 100円
問合せ・ところ・申込先 自然史博物館 TEL 35-2844 FAX 34-4460



カブトムシの幼虫を育ててみよう

とき 10/15(日)
【初級】10:00～11:30
【上級】14:30～15:30
対象 小中学生(小学生は保護者同伴)
※上級コースは、カブトムシの幼虫を飼育した経験がある人に限ります。
定員 初級30人、上級10人(抽選)
参加費 100円
申込 ①9/27(木)まで ②往復はがき ③共通事項、希望コース
問合せ・ところ・申込先 〒918-8006 福井市足羽上町147 自然史博物館 TEL 35-2844 FAX 34-4460



月僧先生の サイエンスショー

とき 10/1(日) 11:30～12:15、14:30～15:15
内容 富山大学教育学部准教授月僧秀弥氏による宇宙に関する実験
定員 各回150人(先着順)
料金 一般 620円
・3歳～高校生 310円
申込 ①9/15(金)9:30から ②窓口
問合せ・ところ セーレンプラネット TEL 43-1622 FAX 43-1644



見逃しお月見 プラネタリウム

とき 9/30(土) 13:00～13:45、16:00～16:45
内容 9/29の中秋の名月の映像を鑑賞
※詳しくはホームページをご覧ください。
定員 各回150人(先着順)
※中学生以下は保護者同伴です。
料金 一般 620円
・3歳～高校生 310円
※イッポンスイーツ MUSUBI の団子を当日限定で販売(別料金)します。
申込 ①9/15(金)9:30から ②電話 ③共通事項
問合せ・ところ セーレンプラネット TEL 43-1622 FAX 43-1644



自然史講座化石採集会

とき 10/21(土) 9:00～12:00
集合場所 鮎川駐車場(鮎川町)
対象 小学4年生以上(小学生は保護者同伴)
定員 20人(抽選)
参加費 100円
申込 ①10/4(木)まで ②往復はがき ③共通事項
問合せ・申込先 〒918-8006 福井市足羽上町147 自然史博物館 TEL 35-2844 FAX 34-4460



お客様 豪華景品を当てよう!!
感謝祭 大抽選会
あわら温泉ペア宿泊券
など豪華景品が!!

2023年10月1日～12月31日

お近くの理容組合加盟店へ
福井県理容生活衛生同業組合

広告内容を福井市が推奨するものではありません。
広告申込先 株式会社ウィット (TEL 072-668-3275)

有料
広告
欄



スマホの基本教えます (大人になる講座)

とき 10/22(日) 14:00～16:00
ところ アオッサ 会議室502
対象 75歳以上のスマホ初心者
内容 現役高校生によるスマホ講座
定員 8人(抽選)
申込 ①9/30(木)まで ②往復はがき ③返信先の住所、氏名、電話番号、スマホの機種
問合せ・申込先 〒910-0858 福井市手寄1丁目4-1 中央公民館 TEL 20-5459 FAX 20-1538



宝くじの助成金を活用しました

(一財)自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ助成事業を行っています。

この事業を活用し、次の団体が地域活動に必要な備品を整備しました。

河合地区自治会連合会

内容 やぐらの購入

大安寺地区自治会連合会

内容 アンプ、スピーカー、プロジェクターなどの購入

日新地区自治会連合会

内容 アンプ、スピーカー、パイプ TENTなどの購入

問合せ まち未来創造課

TEL 20-5230

FAX 20-5733



ふくいの電車・バス「幸福」エピソード募集

公共交通機関の大切さを考えるきっかけとするため、県内を運行する電車、バスにまつわる心温まるエピソード(200字程度)を募集します。

賞 一般 大賞(商品券5万円)、高校生以下 大賞(図書カード1万円)ほか

応募 ①9/29(金)まで ②郵送、Eメール ③原稿用紙(任意様式)、応募用紙

問合せ・応募先 〒910-8580

福井市大手3丁目17-1 福井県交通まちづくり課「ふくいの電車・バス思い出エピソード」作品募集係

TEL 20-0774

FAX 20-0729

☒ carsave@pref.fukui.lg.jp



オンラインおもてなし講習会

とき 9/1(金)~令和6年2/29(木)

対象 嶺北地域に住む人

内容 観光ビジネスコンサルタンツ西川丈次氏によるおもてなし力向上を図るためのオンライン講習(約10分の動画15本程度)

※詳しくはホームページをご覧ください。

問合せ

おもてなし観光推進課

TEL 20-5346

FAX 20-5670

☒ kankou@city.fukui.lg.jp



新収品 えちぜん研究の足跡

とき 9/7(木)~10/15(日)

9:00~19:00

※入館は18:30までです。

内容 昨年新たに寄贈された、福井の歴史研究に関わる資料を紹介

観覧料 220円

※中学生以下、70歳以上、障がい者とその付添人は無料です。

問合せ・ところ 郷土歴史博物館

TEL 21-0489

FAX 21-1489



企画展「ふくいの伝説」

とき 9/7(木)~10/15(日)

9:00~19:00

※入館は18:30までです。

内容 柴田勝家や真田幸村など福井の歴史に関わる人物や福井城下の伝説などを紹介

観覧料 220円

※中学生以下、70歳以上、障がい者とその付添人は無料です。

問合せ・ところ 郷土歴史博物館

TEL 21-0489

FAX 21-1489



観光おもてなしマイスター認定候補者募集

とき 【認定研修】10/11(木)

【認定試験】11/13(月)

ところ アオッサ 研修室 603 ほか

対象 嶺北地域に住み、所属する企業(組織)などから推薦を受けられる人

内容 観光客を温かく迎えるおもてなしの達人を「観光おもてなしマイスター」に認定

定員 20人程度(抽選)

申込 ①9/27(木)まで ②FAX、Eメール ③申込書

※申込書は、ホームページからダウンロードすることができます。

認定者には、認定証とバッジ、認定ステッカーを差し上げます。

問合せ・申込先

おもてなし観光推進課

TEL 20-5346

FAX 20-5670

☒ kankou@city.fukui.lg.jp



働く女性のためのセルフマネジメント術

とき 10/12(木)、19(木)

19:00~20:30

※2回とも参加してください。

ところ アオッサ 研修室 601BC

対象 市内に住むか勤める49歳までの働く女性

内容・ストレスの発生モデル

・心が少し楽になる対処法

・自己効力感の高め方

定員 30人(抽選)

申込 ①10/1(日)まで ②電話、FAX、ホームページ ③共通事項

問合せ・申込先 男女共同参画・子ども家庭センター

TEL 20-1537

FAX 20-1538



休日納税相談

開庁時間に都合がつかない人のために、休日に窓口と電話による納税相談を受け付けます。

とき 9/24(日) 9:00~12:30

ところ 市役所本館2階 納税課

※本館東側地下1階の時間外出入り口から入ってください。

持ち物 マイナンバーカードや運転免許証など、本人確認ができるもの

問合せ 納税課

TEL 20-5330

FAX 20-5339



福井のリボンでバラのコサージュ教室

とき 9/30(土) 10:00~12:00、

13:30~15:00

対象 小学3年生以上(小学生は保護者同伴)

内容 県産のリボンをワイヤー糸で縫うピンクのバラのコサージュ作り

定員 各回20人(先着順)

受講料 2000円

持ち物 はさみ、指ぬき(長針用)

申込 ①9/15(金) 10:00から ②電話

③共通事項

問合せ・ところ・申込先

福福館(ハピリン2階)

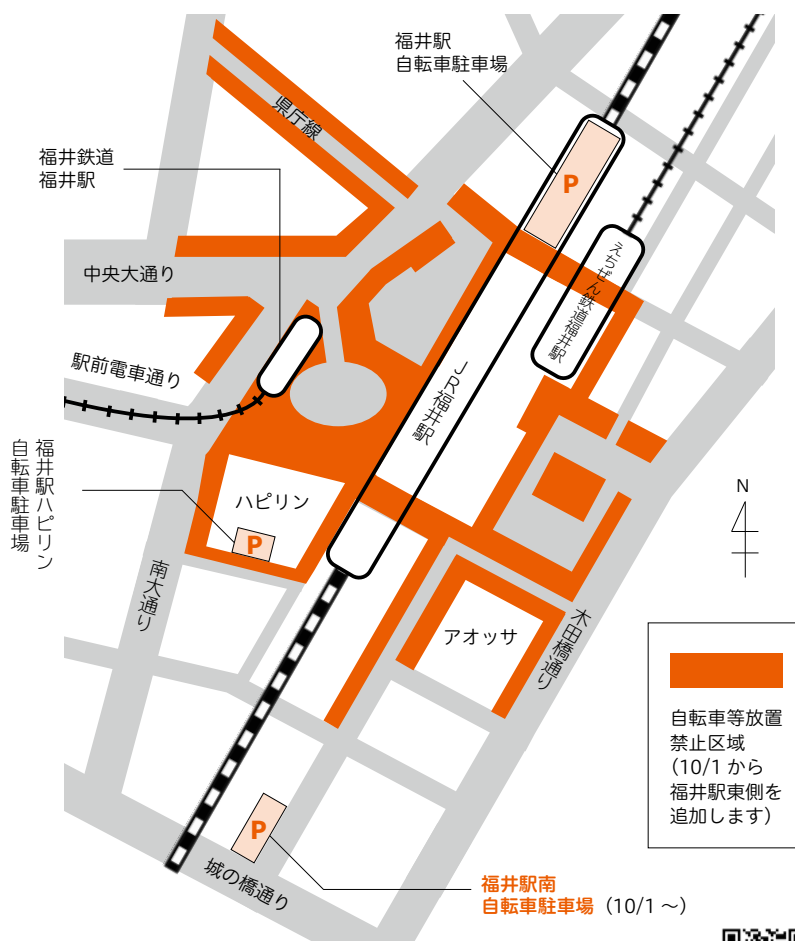
TEL 20-2929

FAX 20-2930



10/1から福井駅周辺の自転車等放置禁止区域が変わります

10/1から、福井駅南側に新たに自転車駐車場を設置し、福井駅周辺の自転車等放置禁止区域を変更します。自転車を歩道や駅前広場に放置すると、通行の妨げとなり歩行者に危険を及ぼします。自転車は自転車駐車場に止めましょう。



問合せ 自転車利用推進課 TEL 20-5387 FAX 20-5139



越廼の民話を聞こう 紙芝居もあるよ

とき 10/1(日) 10:00~11:15

ところ 越廼ふるさと資料館

対象 小学生とその保護者

内容・紙芝居を見る

・越廼の民話を聞く

定員 5組(先着順)

申込 ①9/15(金)から ②電話、Eメール

③共通事項

問合せ 越前水仙の里公園

TEL 89-2381

FAX 89-2383

☒ suisen@city.fukui.lg.jp



歴史散歩「旧北陸道を歩く」

とき 10/14(土) 9:30~11:30

内容 九十九橋から松本荒町一里塚までの旧北陸道をたどる

対象 中学生以上

定員 15人(先着順)

参加費 500円(お土産付き)

申込 ①9/15(金) 9:00から ②電話

③共通事項

問合せ・申込先 (公財)歴史のみえる

まちづくり協会

TEL・FAX 35-0855



国民健康保険脳ドック 利用助成事業

対象 次の全てに該当する人

・令和5年4/1時点で50~69歳

・福井市国民健康保険の加入者で保険税の滞納がない

・今年度中に特定健診またはそれに相当する健診(事業主健診、人間ドック)を受診済みか受診予定

※令和2~4年度に脳ドックの助成を受けた人は除きます。

ペースメーカーなど、体内に金属が埋め込まれている人は、受診できません。詳しくは、検診機関にお問い合わせください。

受診日 12/1(金)~令和6年3/30(土)

検診機関 大森整形外科リウマチ科、奥村病院、福井県済生会病院、福井厚生病院、福井赤十字病院、福井総合クリニック、松原病院

検査内容 頭部MRI(磁気を利用した脳の断層撮影)、MRA(三次元立体画像による脳の血管撮影)、MMSE(認知機能検査)

定員 160人(抽選)

自己負担 1万2000円

申込 ①10/2(月)まで(必着) ②窓口、郵送、FAX、ホームページ ③「脳ドック応募」、共通事項、郵便番号、生年月日、希望検診機関名(1か所のみ)、希望検診機関での受診希望の有無、今年度の特定健診またはそれに相当する健診の受診日・会場(予定でも可)

※窓口、郵送、FAXで申し込む場合は、応募用紙または白色用紙に必要事項を記入してください。応募用紙は窓口、情報コーナー(市役所本館1階)、各連絡所にあります。ホームページからダウンロードすることもできます。

記入漏れなどがある場合は、無効になります。

10月中旬に、応募者全員に抽選結果を通知します。

当選検診機関に、記載事項と被保険者番号の情報を提供します。同意の上、申し込んでください。

問合せ・申込先 〒910-8511 福井市役所 保険年金課(本館2階)

TEL 20-5383

FAX 20-5747





高齢者交通安全推進月間など

9月は「高齢者交通安全推進月間」です。また、9/21～30は、「秋の交通安全市民運動」期間です。

秋は、日没が早まり、夕暮れ時や夜間に重大な交通事故が多発する傾向にあります。また、高齢者が道路横断中に事故に遭う割合が高くなります。

自動車

- ・運転時は、脇見や考え事をせず、運転に集中する
- ・歩行者の道路横断に注意を払う
- ・早めのライト点灯、こまめなハイビーム、ロービームの切り替えをする

自転車

- ・ヘルメットを着用する
- ・利用者は自転車保険に加入する
- ・ブレーキ、タイヤ、ライト、尾灯などの点検整備をする
- ・スマホを見ながら、イヤホンを着けたままの運転はしない

歩行者

- ・道路を横断する際は、左右の安全確認を行う
- ・普段から明るい服装や反射材を着用する

問合せ 自転車利用推進課

TEL 20-5387

FAX 20-5139



高齢者雇用推進セミナー

とき 10/11(水) 13:30～16:00

※受付は13:00からです。

ところ 福井県中小企業産業大学校(下六条町)

対象 事業主、人事管理者など

内容・基調講演「高齢社員の戦力化・充実化を図るために、労使が知っておくべきこと 一人材不足の状況も踏まえて」
・事例紹介

定員 50人(抽選)

申込 ①10/4(水)まで ②郵送、FAX ③申込書

※申込書は、しごと支援課のホームページからダウンロードすることができます。

問合せ・申込先 〒915-0853

越前市行松町25-10 ポリテクセンター 福井内(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構福井支部

TEL 0778-23-1021

FAX 0778-23-1013



養浩館庭園イベント

岡倉天心茶会

とき 9/17(日)

10:00～12:00、
13:00～15:00

内容 表千家同門会福井
吉祥会による呈茶



池のほとりの音楽会

とき 9/17(日)

14:00～17:00

内容 様々なジャンルの
アマチュア演奏家による
ミニコンサート



真昼のお月見落語会

とき 9/30(土)

14:00～16:00

内容 落語 月の会による
落語会



※客席の出入りは自由です。

いずれも

ところ 養浩館庭園

入園料 220円

問合せ 文化振興課

TEL 20-5367 FAX 20-5670



第29回 令和独楽吟 作品募集

募集作品 【独楽吟部門】「たのしみは」
で始まり、「とき」で終わる短歌
【自由短歌部門】自由詠の短歌
※各部門1人1首で、自作の未発表作品に限りです。

賞 橘曙覧賞(賞状と副賞5万円)ほか、
秀作

応募 ①11/30(木)まで(当日消印有効)
②はがき(1枚につき1首)、ホームページ
③応募部門、応募作品(よみがな)、
共通事項(ペンネーム不可)、職業(ま
たは学校名と学年)

※FAXでの応募はできません。

応募作品は返却しません。

発表 入賞者には、令和6年2月初旬
に通知します。

表彰式 令和6年3/3(日)

※詳しくは、ホームページをご覧ください。

問合せ・応募先 〒918-8007

福井市足羽1丁目6-34

(公財)歴史のみえるまちづくり協会

「令和独楽吟」募集係

TEL・FAX 35-0855



「虫をたのしむ」 クイズラリー

とき 10/1(日)～31(火)9:00～17:15
(グリフィス記念館は10:00～19:00)
※入館は閉館の30分前までです。

ところ 愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念
文学館、グリフィス記念館

内容 最初に訪れた館で台紙を受け取
り、各館の展示を見てクイズに答えた人
に、愛宕坂茶道美術館で「虫のキモカワ
お菓子」と抹茶を差し上げます。

定員 100人(先着)

※グリフィス記念館以外は、観覧料が必要
です。

問合せ 橘曙覧記念文学館

TEL 35-1110

FAX 33-3933



絵本の絵の展示「グリ フィスおとぎばなし」

とき 10/1(日)～15(日)

朗読会

とき 10/8(日)11:00～12:00、
13:30～15:00

内容 朗読サークルまつもとおはなしポ
ケットによる朗読

いずれも

問合せ グリフィス記念館

TEL・FAX 50-2911



グリフィス館でハロウ インの写真を撮ろう♪

とき 10/17(火)～31(火)

※10人以上の団体の場合は、事前に連
絡してください。

問合せ グリフィス記念館

TEL・FAX 50-2911



ご存じですか？ B型肝炎給付金

- ▶ B型肝炎ウイルスに感染している
- ▶ 昭和16年7月2日～昭和63年1月27日生まれ

上記2つとも当てはまる方は、給付金を国から受け取
れる可能性があります。無料電話相談でご確認ください。

無料相談 0120-918-862 (受付：平日9:00
～17:30)

東京弁護士会所属/弁護士法人マイタウン法律事務所 マイタウン法律事務所
【マイタウン法律事務所東京事務所】東京都千代田区丸の内2-2-1岸本ビルディング6階

広告内容を福井市が推奨するものではありません。

広告申込先 株式会社ウィット (TEL 072-668-3275)

有料広告欄



市営住宅入居者募集

募集団地	戸数	単身	エレベーター	所在地
東安居団地	1LDK 17戸	可	有	豊岡 2丁目
	2DK 6戸	不可		
	3DK 7戸			
	4DK 5戸			

申込資格

- ・住宅に困窮している
- ・収入基準に該当している
- ・税の滞納がない など

申込 ①9/4(月)～9/22(金)15:00まで ②窓口 ③必要書類

※申し込み多数の場合は抽選します。(9/29(金)予定)

必要書類など、詳しくはお問い合わせください。

問合せ・申込先 市営住宅課(市役所本館4階)

TEL 20-5570 FAX 20-5573



歴史ツアー「国見地区 の歴史をめぐる」

とき 10/22(日)9:00～16:40

内容 北前船や平家ゆかりの場所、歴史
ある神社などをバスで巡るツアー

定員 20人(抽選)

参加費 1780円(昼食代含む)

申込 ①9/27(水)まで ②往復はがき、
ホームページ(1回につき2人まで)

③共通事項

問合せ・申込先 〒918-8007

福井市足羽1丁目6-34

(公財)歴史のみえるまちづくり協会

歴史ツアー係

TEL・FAX 35-0855



福井市医師会 市民公開講座

とき 10/1(日)13:00～16:00

※開場は12:30です。

ところ フェニックス・プラザ

内容 丈夫な骨でいつまでも歩けるよう
に一言言葉は「ストップ・ロコモ」

問合せ (一社)福井市医師会

TEL 23-0587

FAX 22-0347



中秋の名月を楽しもう

とき 9/29(金)17:30～21:00

(荒天中止)

内容 月見飾りやあんどんで彩られた園
内で、しの笛の演奏を聴きながら中秋の
名月を楽しむ。

持ち物 懐中電灯

問合せ・ところ

おさごえ民家園

TEL・FAX 34-3794



8月1日の人口と世帯

人口 25万6503人

(前月比-74)

世帯 10万7300世帯

(前月比+55)



福井市観光交流センターがオープンします！

来年春の北陸新幹線福井開業に先立ち、福井駅東口に福井市観光交流センターが10/1(日)にオープンします。



RF

開放的な屋上には、9体の恐竜モニュメントやAR(拡張現実)で巨大な恐竜が見られる仕掛けが設置されています。イベントなどに利用できる貸し出しスペースもあります。



オープニングイベント開催

とき 10/1(日) 10:00～
ところ 観光交流センター

オープニングセレモニー、シャッターシアター、音楽ライブのほか、動く恐竜や県内のゆるキャラたちも大集合します。

プレゼント付きのじゃんけん大会や、ノバルティグッツ付きのスタンプラリーなども行います。

詳しくは、ホームページをご覧ください。



2F

2階には、ワークショップやギャラリーなどに利用できる展示交流スペースがあります。カフェ「さんじのおやつ」もオープン。



1000円以上購入の
先着200人に



特製ポーチを
プレゼント！

1F

1階には、物販イベントやミニライブなどに使える屋内広場があります。南側にはシェアサイクル「ふくチャリ」の新しい貸し出しポートが設置されています。



※令和6年3月まで、貸し出しスペースの一部に制限があります。詳しくは、ホームページをご覧ください。



問合せ 新幹線整備課 TEL 20-5180 FAX 20-5139



北陸新幹線の試験走行が始まります

新幹線の実車を用いた走行試験が始まります。少しずつ速度を上げながら、最高時速260kmまで安全に走行できるかを試験します。

沿線住民の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

期間 9/23(土)～12/9(土)のうち40日間程度

※1日1往復程度で、主に夜間に実施します。

問合せ 新幹線整備課

TEL 20-5180

FAX 20-5139



行政書士無料相談所

とき 9/28(木) 10:00～16:00

ところ 市役所本館1階 市民ホール

内容 遺言、相続、売買契約等、農地、会社設立、建設、出入国、風俗営業など官公署に対する許認可申請手続きに関する相談

問合せ 福井県行政書士会

TEL 27-7165

FAX 26-6203



自然学習講座 自然観察×ごみ拾い

とき 9/23(土祝) 10:00～12:00

※雨天時は、9/30(土)に延期します。

集合場所 三里浜ハマナス公園駐車場(川尻町)

対象 小学生以上(小学生は保護者同伴)

内容 公園付近の自然観察とごみ拾い

定員 20人(抽選)

申込 ①9/20(木)まで ②電話、ホームページ ③共通事項

問合せ・申込先

福井市環境推進会議(環境政策課内)

TEL 20-5609

FAX 20-5754





①ロータリーが整備されている昭和29年の様子
(現在の織協ビルの辺りから南西方向を撮影)



②2代目織協ビルなどが写る昭和46年の様子

BACK to that FUKUI

あの日の福いネ!

福井の昔の写真を、学芸員の解説を添えて紹介します。

大名町交差点と織協ビル

①は、昭和29年の大名町交差点の様子です。「大名町」という名前は、江戸時代、福井藩の家老を務める上級藩士の屋敷地が広路（現在のフェニックス通り）の西側に広がっており、大名級の家禄をもらう重臣が住むその地区を「大名町」と呼んだことに由来します。

写真を見ると、交差点に信号がなく、中心の島の周りを一方向に周回するロータリー（環状交差点）となっています。このころ、交差点にはすでに、福井銀行本店、福井県織協ビルなどが立ち並んでいました。福井鉄道の線路も並設され、島には福井市の市章があしらわれるなどユニークな交差点でしたが、交通量の増大により、昭和38年に改修されました。

②の写真左手には、昭和41年に建て替えられた2代目の織協ビルがそびえています。建物内には、織維に関する団体や織維関連企業の支店が入居し、スーパーや飲食店、京福バスのバスターミナルなどもありました。また、テナントにニユーまるせん専門店街（旧まるせんデパート）があったことから、当ビルは「まるせん」の通称でも親しまれました。

令和3年には、レストランやクリニックスが入居する3代目の織協ビルに生まれ変わり、現在は、隣接する立体駐車場やホテルの建設が進められています。

BOOK LABO

図書館司書が本を紹介します。

今月のテーマ

「広がる世界」

『くらべる世界』

おかべたかし文 山出高士写真
(東京書籍)

「朝ごはん」「じゃんけん」「ソーセージ」「城」「庭園」などの33項目について、世界の国々の中から2か国を写真で比べ、どのような違いがあるのかを紹介した本。素材の違いをおかゆの朝ごはん、出し手が4種類あるじゃんけん、宗教を反映しているソーセージなど、違いや理由はさまざま興味深い。身近なものの違いから世界の文化や習慣にも触れることができる1冊。



『日本語とにらめっこ』

「見えないぼくの学習奮闘記」

モハメド・オマル・アブディン著
河路由佳聞き手・構成 (白水社)

スーダンの大学生だった全盲の著者は、留学生として福井県立盲学校に通うことになった。周りの人に応援され、点字と、耳で聞いて覚える記憶力を武器に、日本語と格闘する。漢字を学び、日本語学の録音を聴き、福井弁と「おやじギャグ」を使って会話することで日本語の幅を広げていく彼の姿は、努力次第で自分の世界を豊かに広げていけることを教えてくれる。



福井が舞台!

福いいネ！ 福井が行く 福いいネ探しの旅

北陸新幹線

福井

開業まで

あと

6 か月



10月1日にオープンする、福井駅東口の福井市観光交流センター。屋内広場には、「繊維王国福井」が誇る高度な技術が生かされた、縦3m×横4mの2枚の大型タペストリーがつるされています。今回は、その制作に携わった2社を紹介します。

FILE.3 「Made in 福井」でおもてなし

IT を駆使した最先端の染色技術

北側のタペストリーは、セーレン株式会社が制作。独自の染色技術により、高精細な絵柄や写真を1677万色で鮮明に描写しています。用いられているのは、「ビスコテックス」と呼ばれる独自のIT技術で、多品種かつ少量生産ができ、原材料や水、エネルギーの使用量も少なく済む環境に優しい技術です。100年以上にわたり蓄積してきた繊維技術と、最先端のIT技術の融合により完成したタペストリーで、福井の玄関口を鮮やかに彩ります。



北陸新幹線やそば、越前がになどが両面にあしらわれたデザイン



「福井の明るい未来」をキーワードに、鮮やかに福井らしいデザインに仕上げました。タペストリーを見て、新幹線と共に走り出す福井とオンリーワンの繊維技術を感じていただきたいです！



セーレン商事(株)
商品販売部 部長
福澤 伊久男さん

Check!

北陸新幹線の内装にも！

北陸新幹線の最上級車両「グランクラス」のアルミ製のデッキパネルにも同技術が採用されています。繊維で培ってきたインクジェット技術を、金属やプラスチックなどさまざまな素材に応用しています。



県鳥のツグミなどを高精細に表現

繊維王国福井の技術が結集

南側のタペストリーは、日本ダム株式会社が制作。衣料品に付けられるタグやワッパンを織物で製造する「織ネーム」の技術で培った経験と勤を生かし、わずかに8色の糸で何万色もの色を表現しています。1枚の写真を4、5枚に分割して織り上げ、市内の(株)ウエマツが難燃加工を施した後、越前市の(株)ファインモードが縫製をし、1枚ものに仕上げました。表面とヨコ糸が織り込まれた裏面とで、色合いが異なるのも織物ならではの。福井の技術が結集した重厚感あるタペストリーで、「繊維王国福井」をPRします。



(裏)

(表)

「一乗谷朝倉氏遺跡と和傘スカイ」はカラフルで映えるデザイン

和傘の質感や浴衣のしわなど、細部にもこだわり、再現しました。3社の技術が合わさったからこそできた傑作です。地元の繊維技術を、織りタペストリーを通して皆さんに知っていただきたいと思います！



何度も話し合いを重ねた色選びの様子



日本ダム(株)
商品開発部 課長
乾 義明さん